

校長室だより

No. 23

平成30年10月5日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよし かず  
加藤嘉一

## 特異日

2020年の東京オリンピックの話題が盛んです。その前に東京で行われたのは、1964年です。このオリンピックには数々の名シーンがあり、その一つに開会式があるのではないのでしょうか。1964年の東京オリンピック開会式は10月10日(土)。「この日が東京の晴れの特異日だったことから選ばれた。」という話を聞いたことがあります。(インターネット上にはそうではない話も出ているので、わたしにはこれが本当かどうかわかりません。)この開会式を記念して、昭和41年(1966年)に10月10日が「体育の日」として祝日になりました。

特異日とは何か。わたしは、教員になってから、行事のたびに天候を心配する機会が増えたので、このことをよく意識するようになりました。特異日とは、以下のようです。

【9月23日(日) 市球技大会宣誓】→



### 【特異日】※出典 (株)朝日新聞出版発行「知恵蔵」より

統計的にみて、ある特定の気象状態が現れやすい日。気象学的原因は明らかでない。11月3日の文化の日の晴天など。

(饒村曜 和歌山気象台長 / 宮澤清治 NHK放送用語委員会専門委員 / 2007年)

統計的に、東京で「体育の日」に1mm以上の雨が降った回数は、昭和41年(1966年)から平成28年(2016年)までの51年間で9回というデータを示す人もおり、このデータであれば雨が降らない確率は約82%になります。これなら、特異日の一つといえるのでしょうか。ただし、昔にさかのぼるとこの確率も変わってきたり、日本でも場所によっては、天気確率が下がったりするようです。

話は変わって、先日NHKで「人工知能 天使か悪魔か」という番組がありました。コンピューターに莫大な過去の気象データを取り入れさせ、そのパターンから台風の進路等をAIに予測させるシステムを導入している会社があるとのことでした。気象予報士が、気圧や気温などから分析し台風の進路を予測する考え方と全く違って、過去のパターンだけを基にするものです。確かにこの方法をやろうとすると、コンピューターの方が人間よりもはるかに処理できます。たまたまある台風は、AIの方が実際と近い予測が出たようですが、これには根拠はないそうです。となると、これからどちらを信頼するとよいか悩みます。

東京オリンピック開会式前日は、台風の影響で大粒の雨が降っていました。

